

津市立南が丘小学校だより

かがやく未来

2025. 5. 15 N05

感謝の気持ちが持てる自分に…



11日（日）にプロ野球中継では選手がピンク色のものを身に着けて試合をしている様子が映し出されていました。同じ日、日本だけでなくメジャーリーグの試合でも同じような光景が見られました。11日（日）は“母の日”であったため、母親に感謝の気持ちを伝えるために選手はピンク色のものを身に着けて試合を行っているようです。“母の日”の淵源はいくつも説がありますが、アメリカにおいて、戦争で負傷した兵を敵味

方なく手当てしたアン・ジャービスという女性が亡くなった後、感謝の気持ちを伝えるため、娘が「白いバラ」を贈ったことがその始まりであるという説も興味深いと思います。

ドジャースの大谷 翔平選手も日頃の言動から人格者であると言われていますが同じチームで活躍するフレディ・フリーマン選手も悪い言葉を使ったり、グラウンドに唾を吐いたりしないなどその人間性は素晴らしいと放送の中で伝えられていました。小さい頃からそのことを母親から教えられていたとともに“亡き母に恥じない自分に…”と母親が亡くなった今もそのことを意識しながら行動しているそうです。プロ野球選手に限ったことではありませんが、今、自分が存在しているのは誰のおかげか…数多くの方に支えられ、教えられ、見守られてきたからであると思います。すべての方々に感謝の気持ちが持てる自分でありたいと思いました。子どもたちには“今、自分があるのは当たり前”と思うのではなく、“自分たちはいろいろな人に支えられ、教えられ、見守られている”ことが有難いと感謝できるようになってほしいと思います。実際、登下校においてはPTAや南が丘学校協働（支援）委員会の安全パトロールの方に…また、家庭科においては南が丘コミュニティ・ネットの方に…また図書ボランティアさんや読み聞かせの会、お掃除ボランティアの方をはじめ多くの地域の方にお世話になっています。これからますます多くの方に出会い、支えられ、成長していくことでしょう。学校においてもあらゆる場面や教科の中で考えさせ、感じさせる機会を作っていきたいと思います。

地震・大雨・落雷・熱中症への対応について

今年は気温が低いと思えば急激に高温になるなど体調管理が難しい状況にあります。今後気温はますます高くなっていき、大気も不安定になり、下校時間帯に急な大雨や落雷の恐れが発生する場合が出てくると考えられます。さらに、毎日、学校で測定している熱中症指数次第で下校させるのが危険と判断する場合、そして南海トラフ地震などの大規模災害が発生した場合など通信アプリ“リバー”やきずなネットメールなどで保護者の皆さんに引き渡しをお願いや児童への対応（例えば①通常下校②学童・習い事に行かせる③迎えに行く④待機など）を尋ねることもあるかと思います。お仕事中や事情によりいつもいつもスマートフォンを見ていることはできないと思いますのでご連絡がない場合は待機させる等の対応を取らせていただく場合があります。

特にあってはならないことですが、万一、南海トラフ地震が発生した場合、なかなか学校に保護者の方自身がたどり着かない場合もあるかと思いますがそのことも想定して対応に当たらないといけないと考えています。この場合、南が丘中学校からも生徒は小学校運動場に避難してきますので、小中同時に引き渡しをさせていただくことになります。

ただ、本校は津市より広域避難所としての指定をされており、津波の恐れがある場合、藤水・修成・育生地区住民をはじめ、橋南中・育生小・修成小などの児童・生徒も避難してくることとなっておりますのでお知りおきください。